

【リビジョンアップ】

R20TS0771JJ0100

Rev.1.00

2021.12.16 号

RH850 モデルベース開発環境

Embedded Target for RH850 Multicore + Multirate V5.02.00,  
Embedded Target for RH850 Multicore V5.02.00,  
Embedded Target for RH850 V5.02.00

概要

タイトルに記載している製品を以下のとおり、リビジョンアップします。

- (1) Embedded Target for RH850 Multicore + Multirate V5.01.00 から V5.02.00
- (2) Embedded Target for RH850 Multicore V5.01.00 から V5.02.00
- (3) Embedded Target for RH850 V5.01.00 から V5.02.00

製品の詳細は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/mbd-rh850-multicore>

1. アップデート対象バージョン

- Embedded Target for RH850 Multicore + Multirate V5.01.00
- Embedded Target for RH850 Multicore V5.01.00
- Embedded Target for RH850 V5.01.00

2. リビジョンアップ内容

主なリビジョンアップ内容を以下に記します。

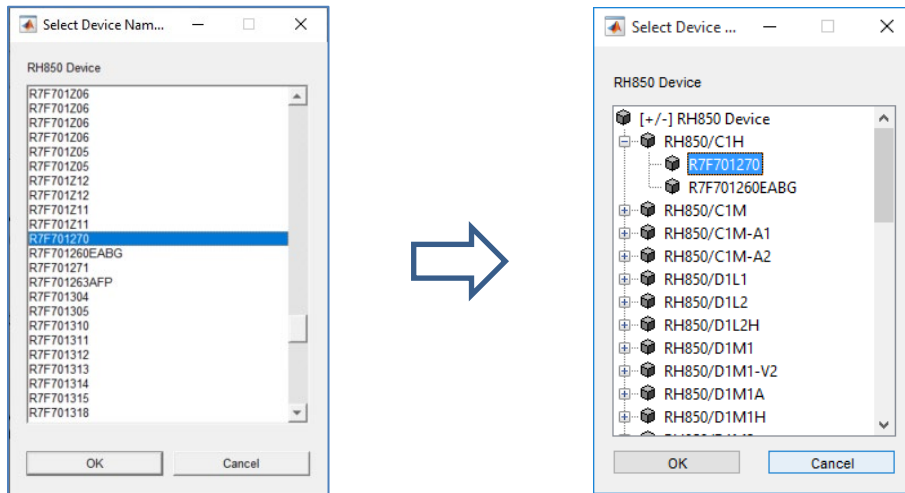
2.1 機能改善

(1) 動作環境の変更

	V5.01.00	V5.02.00
MATLAB® (MathWorks 社製)	R2016a~R2018b	R2016a~R2019b
MEX ファイル用コンパイラ	対応バージョンは下記をご参照ください。 <a href="#">Support - System Requirements and Supported Compilers Previous Releases - MATLAB &amp; Simulink (mathworks.com)</a>	
CS+	V7.00.00, V8.01.00	V8.05.00, V8.06.00
CC-RH コンパイラ	上記に同梱のコンパイラ	上記に同梱のコンパイラ
CCRH850 コンパイラ (Green Hills Software 社製)	2015.1.7 版, 2018.1.5 版	変更なし
サイクル精度シミュレータ	RH850/C1x 他	RH850/C1M-A1, RH850/F1KH を追加
eMBP (イーソル社製)	Ver.2.0.0	Ver.2.2.2
RH850 用プロセッサエレメント 間通信および排他制御ライブラリ	WEB からダウンロード	製品パッケージに同梱

(2) マイクロコントローラを選択ダイアログの変更

使用するマイクロコントローラの一覧を、シリーズ別に分類し表示するように改善しました。



(3) コード生成対象ブロック内に、ネストした参照モデル、Stateflow ブロック、Function-Call Subsystem ブロック、S-function ブロックが使えるようになりました。

(4) サイレント・モードのサポート

モデル変形中に測定対象指定フォームと確認ダイアログを表示させないコマンドを追加しました。これにより手動操作が不要になり、スクリプト・ファイルによる連続評価が可能になりました。

- ecpils\_silent\_mode\_execution

(5) 「4.2.2 計測対象の手動指定手順（シングルコア版）」に記載の、以下のブロック性能解析用のコマンド実行が不要になりました。

- ecpils\_get\_rate\_information

- ecpils\_convert\_core\_csv

(6) 参照モデルの再実行のサポート

PIL シミュレーションを繰り返し実行するには、モデルと CS+ を閉じた後、モデルを開き直してから再実行する必要がありました。下記のコマンドを追加し、モデルと CS+ を閉じることなく、PIL シミュレーションを再実行できるようにしました。回帰テストで実行を繰り返す場合、モデルと CS+ の再立ち上げ時間を削減し、開発期間の短縮ができます。

- ecpils\_enable\_rerun

- ecpils\_disable\_rerun

(7) 単精度 FPU 搭載デバイス使用時の CS+ オプション設定の変更

「6.1.3 double 型データを扱うモデル」に記載の CS+ オプションについて、

・ [出力コード]-[浮動小数点演算方法] を [ソフトウェアで行う (-Xfloat=soft)] に変更する必要があります。

・ CS+ V8.06.00 では、[出力コード]-[double 型及び long double 型の精度] は [8 バイト(なし)] に自動的に設定されるようになりました。CS+ V8.05.00 では、手動で設定が必要です。

(8) 「6.2.5 トレース・メモリの注意事項」に記載の注意事項(トレース・メモリ・サイズは"3M"に設定しないでください。)は、解除されました。

## 2.2 サポートデバイスの追加

サポートするデバイスを以下に記します。

シリーズ	対象マイコン	対応バージョン
RH850/C1x	RH850/C1H	対応済
	RH850/C1M-A1, RH850/C1M-A2	V5.02.00 にて追加
RH850/E1x	RH850/E1M-S <sup>(注)</sup> 、RH850/E1M-S2 <sup>(注)</sup>	対応済
RH850/F1x	RH850/F1L	対応済
	RH850/F1K、RH850/F1KM	対応済
	RH850/F1H	対応済
	RH850/F1KH	V5.02.00 にて追加
RH850/P1x	RH850/P1M-C <sup>(注)</sup> 、RH850/P1H-C <sup>(注)</sup>	対応済
	RH850/P1M-E	対応済
	RH850/P1M	V5.02.00 にて追加
RH850/E2x	RH850/E2M <sup>(注)</sup>	対応済
	RH850/E2x-FCC2、 RH850/E2H <sup>(注)</sup> 、RH850/E2UH <sup>(注)</sup>	V5.02.00 にて追加

Software Trace 方式によるブロック単位性能解析を行うには、トレース RAM が搭載されているデバイスをお使いいただく必要があります。

注：Performance Function 方式による時間測定のみ可能です。Software Trace 方式によるブロック単位性能解析を行うにはサイクル精度シミュレータが必要です。サイクル精度シミュレータについては、弊社営業または特約店までお問い合わせください。

## 3. アップデート方法

弊社営業または特約店経由でのご提供となります。

## 4. 評価版の入手方法

製品版を購入する前に、製品の機能や性能を評価できます。弊社営業または特約店までご相談ください。

5. 新規購入方法

本製品は、1年単位のソフトウェア使用許諾契約によるご提供となっております。

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。

価格についても同様にお問い合わせください。

製品名	発注型名
Embedded Target for RH850 Multicore + Multirate	RTC00CST000000007J
Embedded Target for RH850 Multicore	RTC00CST000000002J
Embedded Target for RH850	RTC00CST000000003J

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Dec.16.21	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

[www.renesas.com](http://www.renesas.com)

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

[www.renesas.com/contact/](http://www.renesas.com/contact/)

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。